

第 65 回東医体卓球競技の開催中止について

7月22日の第1回臨時理事会において、第65回東医体夏季競技の開催可否判断が各実行委員会、運営本部に委ねられることとなりました。そこで、卓球競技としては派遣医師の先生とも相談したうえで競技実行委員三役による協議を重ねた結果、大会を中止とする判断を致しました。

理事会を受けて運営本部で新たに作成された感染対策マニュアルの中に、参加者全員のPCR検査が義務という規定が盛り込まれました。卓球競技ではエントリー段階ですでに全参加者のPCR検査を義務付けておりましたが、今回の決定で全競技、全会場にいる人に適応されるとなると現行の感染状況からPCR検査を受けきることは難しいと考えました。さらに、競技開催時期で感染がピークに達するという予測もあり東医体において感染者や負傷者が出た場合に医療体制に負荷が生じてしまいます。現在全国的に医療がひっ迫している状況であり、東医体がその原因になってはならないとも考えました。

開催まで2週間というところで中止の判断開催をすることは大変心苦しく、開催を希望されていた関係者各位にとっては非常に受け入れがたい決断であると思います。実行委員としても長きにわたって準備してきたこともあり、このような事態になったことを残念に思いますが、来年以降の開催のためご了承いただきたいです。

第66回東医体卓球競技は4年ぶりの開催となる予定です。埼玉医科大学主管の下で大会が無事開催されることをお祈り申し上げます。第65回卓球競技実行委員としては、開催直前までこぎつけた今回の経験を、引き継ぎという形で協力させていただきたく所存でございます。

最後に、第65回卓球競技開催に向け、ご理解、ご協力いただいた各方面の方々にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。今回の中止の判断について、皆様のご理解を頂けると幸いです。